



社会福祉法人 新潟みずほ福祉会

(第 2 号)



撮影 佐藤 荘 威



発 行 新潟みずほ福祉会・三園家族会
所在地 〒950-2137 新潟市小見郷屋107番地2
T E L 025-262-0044
F A X 025-261-5483
ホームページ <http://www.niigatamizuho-fukusikai.jp>
Eメール niigatamzh-fukusikai@desu.ne.jp



支援費制度元年を

目前にして

常務理事 村田 了

新しい福祉の時代を拓く支援費制度が平成十五年四月に障害者施設に試行されるまで、後、残すところ五ヶ月となりました。

去る、九月十二日に厚生労働省は全国の支援費制度担当課長会議を開催し、その席で支援費の仮単価が示されました。

大きな期待をもって待っておりましたが示された仮単価は期待に反したものでした。

ご承知のとおり既存の施設につきましては経過措置で行っても良いということと身体障害者施設は仮単価のB、知的障害者施設はAおよびCの単価が適用されます。

福祉会としましては早速、仮単価を適用して来年度の収入の試算を行いました。措置費制度と比べますと大幅な減収となる見込みとなりその対策に四苦八苦している

新潟みずほ福祉会 基本理念

※ 利用者一人ひとりの尊厳を守り、人権の保障に努めます。

※ 利用者の視点に立ち安心して利用できる質の高い福祉サービスの提供に努めます。

※ 地域に親しまれる安定した福祉の拠点作りと、豊かな社会福祉の実現に努めます。

現状です。また、全国的にも古い施設ほど減収の幅が大きくこれでは利用者へのサービスの低下をも

来たしかなない状況でその対策に苦慮しております。その原因は、今まで職員の経験年数により段階的に出されていた「民改費」が支援費では組み込んであるとの説明ですが、古い施設ほど減収の幅が大きく現れて来ております。

福祉会としましては利用者へのサービスを低下させないことを大前提として経費の節減、或いはどこまでが施設が負担すべき経費か等早急に検討を迫られております。

今後、十月にスタートした「障害者生活相談室」で在宅サービスへの要となる相談業務を実施することにより、新たな在宅サービスへの進出も必要となつて来るでしょう。

制度変革の嵐に飲み込まれること無く全職員一致団結して利用者を選ばれる施設造りに努めてまいります。

文化祭・バザー

去る十一月三日、新潟みずほ園のみのり園、第2みずほ園を会場に「新潟みずほ福祉会文化祭・バザー」が開催されました。

今年に残念ながら雨天のため、三園内を利用しての開催となりました。強くなったり弱まったりする気まぐれな雨足のため、来園される地域住民の方々の数も少ないのでは...との職員の予想に反し、大変多くの来園者があり、大変盛況でした。

なお、文化祭も、地域住民の方々の作品展示、野菜や即売用物品の寄付、軽食のカレーの材料、ケーキやおみやげ、フリーマーケット、サッカー・アルビレックス新潟のグッズ、福祉機器展の器具の展示など、地域の方々及び、関係



業者の皆様の多大なご協力を賜り、無事開催できました。この紙面を借りて、厚く御礼申し上げます。また、各園家族会の皆様にもご協力いただき、大変ありがとうございました。

今年度の文化祭は終了となりましたが、地域住民の方々の暖かいご支援が私達にはあるんだということ胸に、また一年頑張ってきたと思います。大変ありがとうございました。

☆法人事務局のうごき☆

九月十八日理事会・評議員会が開催された。出席者は、理事九人、評議員十九人・監事二人で、議題として「平成十四年度第一次収支補正予算」及び「みのり園居住棟及び体育館屋根防水改修工事について」外一件が提案され、全会一致で可決された。また、「障害者生活相談室(わあらく)」の開設について「及び久保田栄一評議員が六月十二日付けで辞任された旨の報告がありました。

その他の会議等

- 9月4日 三園長会議
- 13日 理事長決裁日
- 25日 三園長会議
- 27日 福祉会幹部会議
- 15日 理事長決裁日
- 16日 三園合同避難訓練
- 28日 三園長会議
- 31日 福祉会幹部会議

「障害者生活相談室」を開設

障害をお持ちの方、そのご家族の方が地域で生活していく上で困っている事、悩んでいる事、聞いてみたい事などの相談をお受けし、地域生活の支援、自立と社会参加の応援を目的とし、新潟みずほ福祉会が独自の事業として障害者生活相談室「わあらく」を十月一日に開設いたしました。

実施主体施設は新潟みずほ園とし、場所は「和楽荘」の研修室を一部改装し設置いたしました。

相談内容の具体例としては、ホームヘルパー・デイサービス・ショートステイ等の利用援助。社会資源を活用し、社会生活力が引き出され、高まるような支援。様々な専門機関の紹介。などです。

専門相談員として、社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員等の専門有資格者を一名常勤で配置しました。

相談日は平日の月曜日から金曜日、時間は午前九時から午後五時四十五分です。

電話番号は、二六二一〇〇四九地域ニーズの掘り起しを進め、障害者福祉の増進に努める所存です。ご支援ご協力をお願いいたします。ありがとうございます。

三園家族会合同研修会

去る十月十九日(土)新潟市内のクオリスにおいて、各家族会員四十五名、各園園長、事務局八名で三園家族会合同研修会と交流会が開催されました。

今回は講師として、関東甲信越地区身体障害者施設協議会会長・社会福祉法人勇成会伊藤勇一理事長をお招きして、来年度より改正される支援費制度・利用契約制度を中心に今後の福祉の動向を幅広くお話していただきました。

講演の冒頭に知的障害者更生施設の話に触れられ、国の通達に基づくグループホーム移行について、知的障害者更生施設「あさひの家」及びその家族会の取り組みについて紹介されました。

支援費制度・利用契約制度についてのお話は、紙面の都合上すべて掲載できませんが、措置費制度から支援費制度に移行する際の施設収入の減額(特に古い施設ほど減額幅が大きい)、障害程度区分の説明(三段階)及びその判定方法、契約について施設が用意する契約書や必要書類等についてわかりやすい言葉で様々な観点からお

話していただきました。

最後に身体障害者療護施設「ありすの杜」の家族会の紹介があり、質疑応答後無事終了いたしました。引き続き行なわれた交流会では当福祉会の横山嘉一理事長からもご参加いただき、三園家族会員の和やかな交流会が開かれ、盛会のうちを終了しました。

お忙しい中、会のためにご講演いただいた伊藤理事長には、交流会にも参加していただきまして御礼申し上げます。ありがとうございました。



第2みずほ園家族会

副会長 小日山知博

去る十月二十七日(日)、県身協家族会役員交流会が南魚沼郡湯沢町にて十二施設、三十七名の参加により開催されました。

主な議題

として①施設利用者の重度化・高齢化対策について②個人契約・支援費制度の問題について③役員交流会のあり方等について、話し合われました。特に役員交流会のあり方については、色々な意見が出ました。(来年から実施しない。来年も実施する。)今後、支援費制度に伴ない家族会自体もどうなっていくのか?不明な点が多い為、来年も役員交流会は実施する事となりました。

今回当番施設にあられた「マイトーラ」の方々、ご苦勞様でした。



リレーエッセイ⑥

ミニコロニーとボランティア

—あの頃の思い出—



新潟みずほ福祉会
評議員
高橋 芳子

昭和四〇年代になって、ようやく日本も経済的發展を遂げ、福祉分野でも、各県に大型のコロニーが作られ、新潟県でも寺泊にコロニー白岩の里ができた。しかし、希望する人達がみんな入ることはできず、残った人達は、もっと家族や地域の人々と交流できる身近なところに重度の人も入れる施設がほしいと県に切望しました。

県ではその要望を受けてミニコロニー構想をたてました。それは五〇人規模の施設で、県内各地に十三ヶ所作るという先駆的な素晴らしい構想でした。

昭和五〇年、その第一号「新潟みずほ園」が新潟市に誕生しました。

その時、知事さんは「皆さんの要望に答えて、福祉法で認める最少の人数で作るので、職員定数が少なく、家族やボランティアも協力してほしい」と言われました。

丁度そのころ市民の中でもボランティア活動が広がり、私たちは民間ボランティアビューローを開いたところでした。

早速、施設のある地域に出かけてボランティア講座を開き、地域の方々が受講して下さい、活動が始まりました。また学生ボランティアも入り、窓ガラスに美しいデザインをしてくれました。

それを機に地域の人達との交流の場が広がり、地域で開く盆踊りを新潟みずほ園で開いたり、文化祭にも協力し地域の方々で作った野菜なども出品して下さいました。保護者の人達も交替で協力して職員力になりました。

新潟みずほ園の一〇周年記念には沢山のボランティアグループが表彰を受け、感激しました。

その後、みのり園、第2みずほ園ができ、各種のボランティアが常時活動するようになりました。

三園の皆さんも益々地域の人々との交流を深め、地域社会の一員として生き生きと生活できる場となるようにと願っています。



インフォメーション
外壁改修工事について

地域交流ホームは、平成元年に日本自動車振興会の補助を受けて建築されました。以来、施設利用者や近隣からの短期入所者の入浴やリハビリ訓練に利用され喜ばれております。

しかし、建築後十三年が経過し外壁塗装の汚れや雨水の浸透が見受けられたので、車両競技公益資金記念財団の助成を受けて外壁改修工事を実施しました。

十月三十一日に工事が完了しリニューアルオープンしております。



習字・パソコンの
ボランティア紹介

この秋から毎週水曜日に、上原正吾さんが来園され、習字愛好家の利用者の方々に、書道を教えていただいています。一年前から習字をはじめていて、少しずつ上達してきてはいたものの、やはり先生から手解きを受けると自信がつくものです。お手本を見ながら筆を持つ姿は真剣そのもの。さあ、次はうまく書けるかな？習字の時間を楽しんでいきます。



こちらパソコン教室も、九月から月一回、古賀淳さんが来園されています。パソコンに興味はあるけれど難しそう…。でもインターネットやメール等、使いこなせるようになれば楽しみも広がるのでは？そんな気持ちで仲間が集まり、親切に教えていただいています。

❖ 8/16 職員研修救急法 ❖
人工呼吸と心臓マッサージの訓練をしました



❖ 8/28~29 グループ旅行佐渡 ❖
佐渡と言ったらトキでしょう？
トキの村にてハイポーズ！



❖ 10/23~24 グループ旅行日光 ❖



❖ 10/14 親子三代ふれあい会 ❖
毎年恒例、歌謡曲に合わせて劇をしました。
女装に男装…さあ誰でしょう？



み
ず
ほ
の
め
し
め
も



利用者共同作品
みんなで絵の具を手
にぬってペタペタみ
ずほの森を描きました。



日頃の余暇時間などを使用してスキルスクリーンやスキルギャラリ、絵や習字に取り組んでいます。ビーズを扱う際は間違いないように一つひとつ確認しながら慎重に行います。人によってビーズに糸を通すのにかなり時間を要する方もおり、文化祭に向けて必死になっている姿が見られました。文化祭で家族の方や地域の方々に作品を見てもらいたいという気持ちから、例年を上回る数の展示を行うことができました。

文化祭に向けて
制作風景



新潟みずほ園

〒950-2137 TEL 025 (262) 0044
新潟市小見郷屋107-2 FAX 025 (261) 5483
URL <http://www.aa.alpha-net.ne.jp/mizuhoen>
Eメールアドレス mizuhoen@m20.alpha-net.ne.jp

（おくやみ）
九月十三日、佐藤介護員の御尊
父様逝去されました。
謹んでご冥福をお祈りします。

（ご結婚）
九月二十三日、佐野中央
介護員が結婚
され、伊東さ
んになりました。
おめでと
うございました。



みずほ職員動向

ペンリレー始動!

今の私

援護課長 鳥山 和久

私は昭和二十六年に生まれ、人生五十年の坂道を登り始めました。福祉施設に長く勤務をしています。自分が、自分なりに生きてきたと思っております。

晩秋に入り、新潟市の支援費制度移行への説明会に出席しました。そこでは、制度移行への手続関係が中心に、まあ、頭の回転が鈍い私でも整理はできそうでした。しかし何故か気持ちの中が満ちていないのです。学生時代に読んだ「福祉の思想」を再度読み返しました。糸賀先生も著書の中で「この社会に生きてその中で自己を実現していくのである。その自己実現を尊重し、必要があれば援護していく」と書いております。障害者も自分なりの生き方をしていく、それが根本にあるのだと確信した、今日この頃の私です。次回は、給食の多賀さんをお願いします。

西川町アルミ缶回収



このたび、西川町鱸町内会会長様並びに役員の皆様のご協力により、西川町鱸一区、二区、三区のゴミステーションに、アルミ缶回収ボックスを設置させていただくことになり、毎月第二、第四水曜日にボックスを設置し、第二、第四木曜日に利用者の皆さんと回収に伺っております。

お陰様で、アルミ缶の量も確保でき、リサイクル作業が順調に進んでおります。限られた資源のリサイクル活動の一環として、アルミ缶の回収にご協力いただければ幸いです。今後ともよろしくお願いいたします。



生活習慣病を見直そう

看護師 岩崎 広美

当園では、三十才から婦人科検診、四十才以上の方に胃ガン検診新潟市の基本健康診査を実施しています。

糖尿病、高血圧、高脂血症、肥満などは、中高年に多いと言われて、かつては「成人病」と呼ばれていましたが、最近は「生活習慣病」と改められています。

これらの病気の発症、進行は食事や運動のライフスタイルに深くかかわっています。

「何も症状がないから」と一つの生活習慣病を放置していると、心筋梗塞や脳梗塞という命にかかわる病気になりかねません。

生活習慣の改善が予防の基本になります。

まずバランスの良い食事、適度な運動を心がけましょう。

みのり園も、嘱託医の診断、アトバイスを頂き定期的に血液検査を実施して予防に努めたいと思います。

「本屋と食事」

ボランティア 三浦 厚志

五人で外出しました。Aさんは、本屋で「さかなの本」を買うのを楽しみにしていました。Bさんは食事を楽しみに、Cさんは特に、ラーメンを楽しみにしていました。

本屋では、Aさんは別の本を買いました。もう一冊買いたいと言いました。おこづかいのことを考え少し困り、職員のKさんへ相談すると、「イイですよ。好きなのを」と返事されました。私は、少々驚きました。私自身のこづかいの基準で考えていたからです。羨ましいなあと思いました。Aさんは、大満足でした。

次は、早々に本屋を出て、B、Cさん達の楽しみである食事へ移動しました。そこでも、楽しいこと、困ったことが、沢山ありました。



ボランティア三浦さんと



旅行に行ってきました

さっそく
行って来ました
byかねこ



9/4,5 村杉温泉



10/2,3 10/9,10 湯田中温泉



9/15 中野小屋中学校運動会

毎度ありがとうございます!
今年も大盛況でした



たのしかったよ!
ありがとうございました

11/3 文化祭



うまいっ!!



芸術の秋

みのり園

〒950-2138

新潟県新潟市藤野木51番地

電話 025-262-0075 FAX025-262-1439

ホームページ

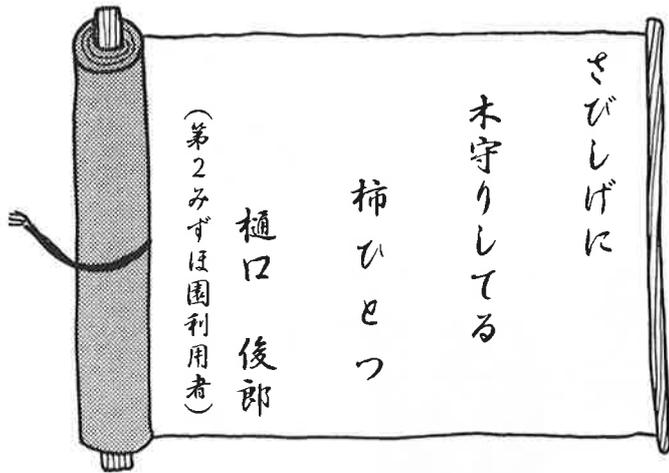
<http://www.aa.alpha-net.ne.jp/minorien/>

Eメール minorien@m21.alpha-net.ne.jp

八月二十五日
臨時職員 志水 靖

ご結婚 おめでとうございます

保護者・職員近況
おくやみ
謹んでご冥福をお祈りいたしま
す。
佐藤久美子さんの御母様が六
月二十二日にご逝去されました。
平野絹恵さんの御母様が十月
一日にご逝去されました



第2みずほ vol.25



県身協スポーツ交流会 準優勝!

九月四日、亀田町の「ふれ愛プラザ」にて、県身協スポーツ交流会が開催されました。

競技種目は、カローリング。全十四チーム(当園は、Aチーム・Bチームと二チーム参加)でトーナメントを行い、優勝を目指しました。

Aチーム(松田・高橋・若月)は、惜しくも二回戦敗退。

Bチーム(古俣・長尾・村松)は勝ち進み、決勝戦で、更生指導所



Aチームに敗れましたが、堂々の準優勝となりました。

六人の選手達はお互いに応援し励まし合い、敵味方の一投に一喜一憂し、一生懸命プレーをしていました。

閉会式、みんなの顔に、ちょっぴりの悔しさと、疲労の色が。そして、精一杯やったという晴れやかな表情が浮かんでいました。

(介護員 長嶋 圭)



明鏡高校

介護教室&

買い物外出

ボランティアス

十月八日、明鏡高校で介護教室を行いました。翌日には、生徒さんたちが買い物外出ボランティアとして活躍して下さいました。



陶芸教室

「陶芸」私自身人生の中で二度ほど経験した記憶があります。確か、小学校の遠足と中学校のクラブ活動だった気がします。今回で三回目の経験をしました。自分の中では、見学のみだけだと思っていましたが、実際、自分自身も手伝いながら、皆さんと一緒に力作、名作、珍作？を作っていました。皆さんの作った作品には作り手の思い、感情がこもっており、全作品素晴らしい物にできあがりしました。

来年も皆さん頑張って良い物を作っていけるよう、今からアイデアをひねっておいて下さい。

(介護員 中川 圭介)



私のメッセージ(みんなの作品)



佐藤恵美子さんの育てた植物たちです

秋の味覚

どこで取れても

おけさ柿

(本間 弘嗣)

看護婦さん

いつも笑顔で

手をとりて

(本間 弘嗣)

Tの試・写・室

毎月(不定期だったりして)ビデオによる映画上映を行っていくことに際し、お薦め作品を紹介しちゃうのかな...と言ったコーナーです。

『あの子を探して』

中国の山間の貧しい村の小学校に代用教員として雇われた十三才の少女が、出稼ぎに町へ行ってしまった少年を探し求めて奮闘すると言ったお話。(背景には、貧しさのあまり、子どもが次々と町へ出て行ってしまふ。それを食い止めるよう村長に言われ、それでなきゃ、お金を払ってもらえないのだ)子ども達の純真さと、主人公の一生懸命さ。そして、物の豊かさに慣れてしまった我々が忘れかけていた心の豊かさを思い出させてくれます。きっと、爽やかな感動を呼び起こすでしょう。

監督、張芸謀(チャン・イーモウ)。一九九九年、ベネチア国際映画祭、金獅子賞受賞作品。



新規利用者紹介



川口美治子

九月一日から、第2みずほ園で生活することとなりました。今後とも、よろしくお祈りします。

計 報

利用者の川勝フジさんが、病氣療養中のところ平成十四年八月二十七日に逝去されました。

素敵な笑顔を、ありがとうございます。心よりご冥福を、お祈り申し上げます。

所在地
〒950-2137
新潟市小見郷屋58番地4
TEL
025-261-2211
FAX
025-261-5502
ホームページ
http://www4.ocn.ne.jp/~dai2mzh/
Eメール
dai2mzh@blue.ocn.ne.jp

